

Question /

保険→自費 使い心地を追求するなら？

保険治療の入れ歯と、保険外の自費治療の入れ歯。何が違うのでしょうか？
ひとつには、「もっと快適に噛みたい」というときに保険と自費の差が出てきます。

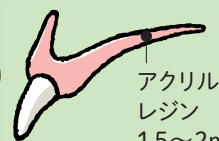
[上の歯の部分入れ歯の場合]

保険



アクリル
レジン

断面図



アクリル
レジン
1.5～2mmの厚み

自費



金属

断面図



金属
約0.5mmの厚み

[下の歯の部分入れ歯の場合]

保険



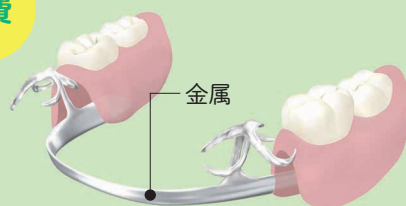
アクリル
レジン

断面図



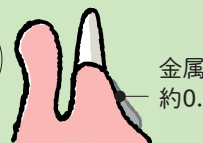
アクリル
レジン
1.5～2mmの厚み

自費



金属

断面図



金属
約0.5mmの厚み

Answer /

義歯床の一部を金属にする

お口のなかで
広く取れて快適に！

保険の入れ歯の義歯床(歯ぐきを覆う部分)には、主にアクリルレジンという歯科用プラスチックが使われています。プラスチックでは、割れるの防ぐためにどうしてもある程度の厚みが必要となります。厚みがあるぶんお口のなかで存在感があり、これが違和感の元となります。

自費の入れ歯では、義歯床の一部を金属にできます。金属にすると、アクリルレジン以上の強度や耐久性を維持しながら薄くできるので、お口のなかのスペースが広がります。舌が動くスペースも広がり、使い心地が向上します。

耐久性や
剛性が増します。

入れ歯の耐久性が増すだけでなく、剛性(変形しにくさ)も向上し、たわみが少なくなって噛む力が分散されやすくなります。

「薄い」ことで
こんな利点も。

薄くなると、飲食物の温度を感じやすくなります(すぐに体温で温まるので、金属だから冷たいということはありません)。

部分入れ歯の人工歯も、
一般に自費で使う材料のほうが
変色しにくく、丈夫で長持ちすると
考えてよいですよ。



Question /

保険→自費 審美性を追求するなら？

保険の部分入れ歯はクラスプ(バネ)が目立って気になる……。
自費の部分入れ歯では、見た目についても解決手段が用意されています。

保険



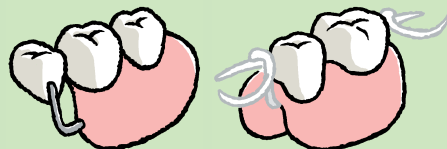
歯を表と裏から挟み込む
保険の金属のクラスプ。
目立ってしまうのが困り
ものです。

自費

Answer /

1 クラスプの形・ 材質を変える

歯の裏側につく片面だけのクラス
プに変えたり、色が白く目立たな
いレジン製のクラスプにします。



レバー

ホワイトクラスプ

自費

Answer /

2 クラスプを使わない 固定法にする

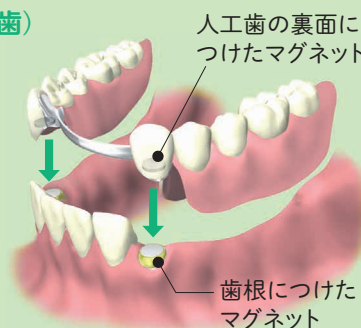
磁石や特殊な金具で固定する、クラスプの代わりにレジンで
覆って固定するなど、クラスプを使わない方式で固定します。

*これ以外にもいろいろなタイプがあります。

磁石で固定するタイプ

(磁性アタッチメント義歯)

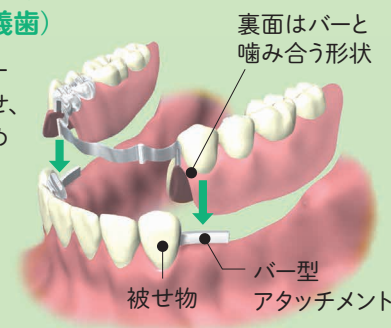
●残った歯の根(歯根)
に磁石を埋め込み、その
歯根と重なる位置にある
人工歯に磁石をつけて固
定します。



特殊な金具で固定するタイプ

(精密アタッチメント義歯)

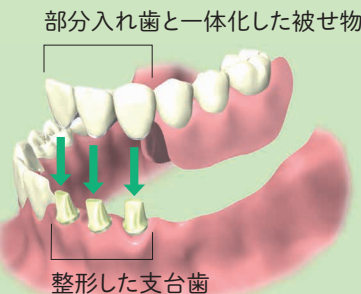
●残った歯に金属のバー
がついた被せ物をかぶせ、
そこに部分入れ歯をはめ
込みます。



被せ物と連結するタイプ

(コーヌス義歯)

●整形した支台歯に、部
分入れ歯と一体化した被
せ物をかぶせます。



レジンで覆うタイプ

(ノンメタルクラスプ義歯)

●支えとなる歯のまわり
を囲むようにレジンで覆
います。

